

AXIOLE を用いた YAMAHA 無線 AP WLX302 の RADIUS(EAP)による認証

2015/2/24

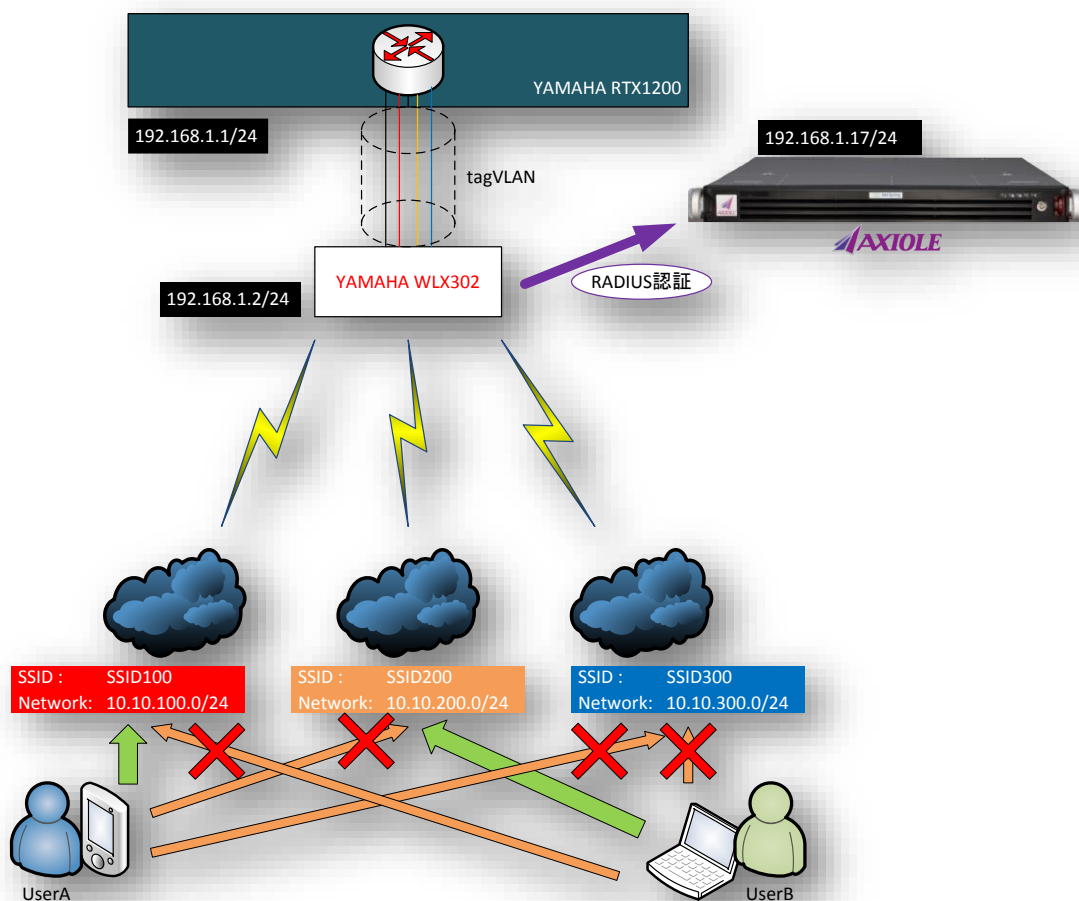
株式会社ネットスプリング 営業本部 営業部 SE

本資料の概要

この資料では、AXIOLE の RADIUS サーバ機能を用いて、YAMAHA 製無線 AP “WLX302” を用いた、EAP による認証を行なうことができます。また設定された複数の SSID(VLAN)のうち、接続可能な SSID をユーザ毎に設定することも可能です。

1. 設計

- ネットワーク構成例



- ユーザは以下のような設定が可能です。

userA	一般ユーザ SSID100 へ接続が許可されます。
userB	一般ユーザ SSID200 へ接続が許可されます。
president	通常時は SSID100 で業務を行なうが、管理に関わる特別な業務を SSID300 で行います。
systemadm	管理者。SSID100, 200 に接続が許可されます。

2. 設定のポイント

YAMAHA WLX302 は EAP で RADIUS に認証を要求する際、Called-Station-Id 属性に、

{WLX302 の各 SSID の MAC アドレス}:{SSID}

例) 00-A0-DE-xx-xx-xx:SSID100

のように、属性値として SSID に割り当てられた MAC アドレスと SSID を付与します。

AXIOLE は、RADIUS 認証時に、ユーザ ID/パスワードだけでなく、Called-Station-Id の一致も、認証時の条件として追加することができます。

また、AXIOLE の RADIUS 各属性の属性値は、正規表現を記述することで、複雑な値の照合ができます。これを利用して、Called-Station-Id 属性値の末尾に付与される SSID を照合し、条件に合致する場合のみ認証に成功させることができます。

例)

=~ :SSID100\$ ※属性値の最後(\$)が“:SSID100”。

=~ (:SSID100|:SSID200)\$ ※属性値の最後(\$)が“:SSID100”もしくは“:SSID200”。

3. 動作確認済み端末

iOS8.1.2 (iPad Air2, iPhone6, iPad mini, iPad mini Retina ディスプレイモデル),
Android4.4 (htc HTL32), Windows7, Windows8, Windows8.1, MacOS X 10.10 (Yosemite)

4. お問い合わせ

株式会社ネットスプリング サポートセンター

TEL: 050-5536-4841 (月～金 9:00～17:00、日曜日・祝祭日・年末年始を除く)

FAX: 050-3737-1458

E-mail: nssc@netspring.co.jp